



口塗工 整理 No.		14-01	労働災害状況調査表		
発生会社 事業所					
災害発生場所		技術棟 乾燥機室			
災害発生日時		2013年 5月 13日(月) 23時 15分 天候(晴) 温度()℃湿度()%			
災害区分		不休災害 休業災害(休業:△日)			
被災者	部門	技術部門		雇用形態 (正社員)、派遣、契約、その他()	
	年齢	34 歳	性別: (男) 女	勤続年数 14 年	経験年数 14 年
	傷病名	病名 (薬傷(炎症))			
	傷病部位	右目およびその周囲			
災害発生状況	①窒素酸化物による仕上がり不良影響を確認する為10%硝酸液と塗装板を内面コート石油缶に入れ、大型乾燥炉内に設置して焼き付け乾燥した。	状況概略(写真orイラスト) ① 塗板と10%硝酸80CCを内面塗装石油缶に入れ ② 内面塗装缶ごと大型乾燥機に入れ、160℃-30分パス焼付け 			
	②乾燥後、石油缶ごと取出して触れても大丈夫な程度まで床置き放冷した。	③ 焼付後、乾燥機の外の床に置き触れても大丈夫なまで自然放冷 			
	③塗板観察するため、石油缶の蓋を開けた際、右目周辺に痛みを感じた。	④ 塗板の状態観察のため内面塗装石油缶の蓋を外し塗板ごと持ち上げて観察する時 右目付近に痛みを感じた。 被災者は視力調整用眼鏡を着用 			
	④水洗による応急処置後、病院へ行ったが、専門医が不在であったため、同様に水洗による応急処置を受けた後、帰宅した。				
	⑤翌日、同病院で受診した結果、塗り薬を処方されたが、患部は特に腫れた様子もなかった。				
災害の型 ^{※1)}	7		作業の形態: 定常、非定常、その他()		
起因物:	硝酸液蒸気		特記事項 特になし		
原因分類	1. 人的要因(man): 不安全行動・未経験者の初めての作業 2. 物に関する要因(machine): 正規条件より硝酸液の蒸気量が多い(硝酸濃度の計算誤り: 0.1N ⇒ 10% = 1.7N) 3. 環境要因(media): 経験者が不在 4. 管理的要因(management): 非定常作業のため、作業標準無し				
対策	1) 作業標準を作成した。(標準書ができるまでは、当該作業は禁止した。) ⇒ (人的・環境・管理) 2) 希釈間違いをしないように希釈換算表を作成した。 ⇒ (管理) 3) 0.1N硝酸を購入し、常備するようになった。 ⇒ (物に関する)				
	対策分類 ^{※2)} :		1-5、2-4		
備考	類似箇所の摘出: 類似作業を確認したが、無いため、横展開は無し。				